

セルフメディケーションの推進と期待すべき効果

日本の将来推計人口

	総人口	0-14歳		15-64歳		65歳以上	
		人口	比率	人口	比率	人口	比率
2005年	127,768	17,585	13.8%	84,422	66.1%	25,761	20.2%
2025年	120,000	11,960	10.0%	71,028	59.1%	37,113	30.9%

(平成18年12月推計「日本の将来推計人口」より)

→2020年以降、高齢者人口比率は30%へ。
→その後も増加し2050年には40%台に。

今後の国民医療費予測

2025年度 国民医療費の将来推計

	総額	65歳未満		65歳以上	
		金額	比率	金額	比率
厚労省試算	69兆円	35兆円	50.7%	34兆円	49.3%
NRK推計	55兆円	20兆円	36.3%	35兆円	63.6%

○厚労省の推計(平成17年5月25日、社保審一医療保険部会提出資料)
2025年の国民医療費 69兆円
うち65歳以上国民医療費 34兆円(49.3%)
⇒平成18年度(2006年度)国民医療費 33兆1,276億円
うち65歳以上17兆1,233億円(51.7%)
→すでに高齢者医療費は50%を突破

○NRKの推計
2025年の65歳以上国民医療費 35兆円(63.6%)
うち65歳以上国民医療費 35兆円(63.6%)
⇒2025年までの19年間に12ポイント増。
(平成17年度から平成18年度の1年間で65歳医療費は51.0%から51.7%に、0.7ポイントの増)

生活習慣病医療費

	国民医療費	生活習慣病		非生活習慣病	
		金額	比率	金額	比率
現在(2006年) (一般診療医療費)	31兆円 (25兆円)	11.6兆 (9兆3903億円)	37.5% (37.5%)	19.3兆円 (16兆円)	62.5% (62.5%)
2025年	55兆円	27兆円	49.1%	28兆円	50.9%

65歳未満と65歳以上の生活習慣病関連医療費

	2006年度(実績)			2025年度(推計)		
	国民医療費	生活習慣病関連医療費	比率	国民医療費	生活習慣病関連医療費	比率
65歳未満	16.0兆円 (11.4兆円)	4.2兆円 (3.0兆円)	26.3% (26.3%)	20兆円 (14.2兆円)	5.0兆円 (3.6兆円)	25% (25%)
65歳以上	17.1兆円 (13.6兆円)	8.0兆円 (6.37兆円)	46.8% (46.8%)	35兆円 (27.9兆円)	27兆円 (21.5兆円)	77.1% (77.1%)

各項の下段カッコ内の数値は一般診療医療費を示す。

※セルフメディケーションのターゲット
→65歳未満20兆円中、生活習慣病関連費5兆円の中の2-3兆円
→65歳以上35兆円中、生活習慣病関連費25兆円の中の10-15兆円 } 12-18兆円

セルフメディケーションターゲットの達成額の20%を提供者に還元
(2.4兆円-3.6兆円還元)

セルフメディケーション推進の実現

2006年度 現在: 33.1兆円
2025年 自然増: 55兆円
2025年 セルフメディケーション推進後の医療費: 40.6兆円

セルフメディケーション効果
45.4兆円 (下限12兆円・△9.6兆円)
40.6兆円 (上限18兆円・△14.4兆円)

改正薬事法とセルフメディケーションの推進

■ スイッチOTCの拡大

医療用 ← 処方せん | 非処方せん | 1 | 2 | 3 | 一般用 →

スイッチOTC (1, 2, 3)

・安全に提供する第一類医薬品提供体制の確立
・新制度下での、大幅なスイッチOTC薬の拡大
・市販後調査(PMS)後、可能なものは2ヘシフト

スイッチOTCの拡大は
セルフメディケーション推進を実現する